

製品名: SMAD5 (リン酸化Ser463/Ser465) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21103**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:52kD;Observed MW:60kD

抗原情報

遺伝子名	SMAD5
別名	SMAD5;MADH5;Mothers against decapentaplegic homolog 5;MAD homolog 5;Mothers against DPP homolog 5;JV5-1;SMAD family member 5;SMAD 5;Smad5;hSmad5
遺伝子 ID	4090.0
SwissProt ID	Q99717
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

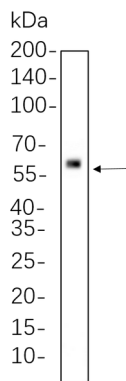
背景

細胞局在：細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、造血前駆細胞の増殖を阻害する形質転換成長因子 β シグナル伝達経路に關与する。コードされるタンパク質は骨形成タンパク質 1 型受容体キナーゼによって活性化され、がんに關与する可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]

研究分野

-

画像データ



MCF7 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を SMAD5 (リン酸化 Ser463/Ser465) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。